

# 2018年4月1日から2019年12月31日に、当院で根治的な放射線と抗がん剤の同時加療が施行された局所進行肺癌の方へ

## 研究実施のお知らせ

研究の題名：根治的放射線治療後における Durvalumab 投与の実臨床での検討

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2021年12月31日

研究責任者：山梨大学医学部内科学第二講座 臨床助教 齊木雅史

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

局所進行肺癌に対しては放射線と抗がん剤の同時加療が行われています。近年ではその後イミフィンジを投与することが標準治療となりました。しかしながら、まだ症例の集積は少なく、イミフィンジが十分に投与されないことも多いのが現状です。そのため今回、実態を解析し、今後の治療の発展につなげるために本研究を計画しました。

### 【研究の方法について】

対象となる患者さんの臨床情報を電子カルテより取得し、イミフィンジが投与された症例と、そうでない症例に関しての検討を行います。

### 【利用する試料・情報について】

〈対象となる患者さん〉

局所進行肺癌の患者さんで、2018年4月1日から2019年12月31日の間に根治的な放射線と抗がん剤の同時加療を受けた方。

〈利用する情報・項目〉

情報：病歴、治療歴、副作用の発生状況など

試料：なし

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

### 【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

この研究で使用する試料・情報は、すべて各機関においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。

研究代表者

がん研究会 有明病院 呼吸器内科 西尾 誠人

## 共同研究機関及び研究責任者

NTT 東日本関東病院 呼吸器内科	酒谷俊雄
仙台厚生病院 呼吸器内科	川嶋庸介
国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器腫瘍内科	上浪健
金沢大学附属病院 がんセンター 腫瘍内科	谷本梓
東北大学病院 呼吸器内科	宮内栄作
北九州市立医療センター 呼吸器内科	土屋裕子
山梨大学医学部附属病院 循環器内科、呼吸器内科	齊木雅史
弘前大学医学部附属病院 呼吸器内科/感染症科	田中寿志
金沢大学医学部附属病院 呼吸器内科	丹保裕一
名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学	神山潤二
昭和大学医学部内科学講座 腫瘍内科学部門	堀池篤
自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器内科	大柳文義
福井大学医学系部門内科学（3）分野	園田智明
国立病院機構大阪南医療センター 呼吸器腫瘍内科	工藤慶太

## 【個人情報取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

## 〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部内科学講座第2教室

臨床助教 齊木 雅史

メールアドレス：msaiki@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6749